第10回　両荘地区義務教育学校開校準備委員会　次第

日時：令和５年　７月 25 日（火）19 時から
場所：両荘中学校　音楽室

１　開会

２　あいさつ

３　議題
（１）委員長、副委員長の選任について

（２）今年度の予定について

（３）開校記念式典について

（４）スクールバスについて

４　報告
（１）スクールバスデザインについて

（２）カリキュラム等に関する決定事項について

５　その他

６　閉会

◎資料
１　両荘地区義務教育学校開校準備委員会　委員名簿
２　両荘地区義務教育学校開校準備委員会設置要綱
３　両荘地区義務教育学校開校準備委員会開催状況及び今年度の予定
４　両荘みらい学園開校記念式典について
５　スクールバスルート図（案）、両荘みらい学園スクールバス時刻表（案）、スクールバス乗降場所（案）
６　スクールバスデザインについて
７　両荘みらい学園カリキュラム等に関する決定事項

加古川市両荘地区義務教育学校開校準備委員会　委員名簿

（令和５年７月２５日現在）

委員区分	所　属	氏　名	備　考
地域団体の代表	平荘町町内会連合会長	藤原　知之	
	上荘町町内会連合会長	前川　武俊	
こども園保護者会の代表	都台こども園保護者	泊　麻由	
	みどりの森こども園保護者	南　英樹	
ＰＴＡの代表	平荘小学校ＰＴＡ副会長	野村　裕美	
	上荘小学校ＰＴＡ副会長	神川　由記	
	両荘中学校ＰＴＡ副会長	大西　智美	
学校の代表	平荘小学校　校長	進藤　香代	
	〃　　主幹教諭	田中　慎一郎	
	上荘小学校　校長	須藤　長之輔	
	〃　　主幹教諭	大久保　隆志	
	両荘中学校　校長	神吉　直哉	
	〃　　主幹教諭	國分　一徳	

◎事務局

所　属	役職名	氏　名	備　考
教育総務部	部長	織田　信吾	
教育総務課	課長	福本　圭司	
	学校規模適正化担当副課長	名嶋　一也	
	学校規模適正化担当係長	岡本　辰夫	
	管理調整係主査	澤　真司	
学校施設課	課長	横田　知彦	
学校教育課	学校企画係長	東郷　雅立	
	学校企画係指導主事	荒井　英樹	

資料２

加古川市両荘地区義務教育学校開校準備委員会設置要綱

（設置）

第１条　加古川市両荘地区義務教育学校（以下「義務教育学校」という。）の開校にあたり、地域、保護者及び学校関係者並びに教育委員会が連携して、子どもたちのためのよりよい教育環境を創出し、地域の実態に即した義務教育学校となるよう、幅広い意見を聴取するため、加古川市両荘地区義務教育学校開校準備委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　委員会は、次に掲げる事項について意見交換する。

(1) 義務教育学校の学校運営に関すること。

(2) 義務教育学校の施設整備に関すること。

(3) 前２号に掲げるもののほか、前条に規定する委員会の目的を達成するために必要な事項

（組織）

第３条　委員会の委員は、次に掲げる者で構成し、教育長が委嘱又は任命する。

(1) 地域団体の代表

(2) こども園の保護者会並びに小学校及び中学校のＰＴＡの代表

(3) 小学校及び中学校の代表

(4) 前３号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める者

２　前項に掲げるもののほか、オブザーバーとして、学識経験者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

（任期）

第４条　委員会の委員の任期は、義務教育学校の開校の日までとする。ただし、任期の途中の交代も可とする。

（委員長及び副委員長）

第５条　委員会に委員長及び副委員長各１人を置き、委員の互選により定める。

２　委員長は会務を総括し、委員会を代表する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

（報償費）

第６条　委員会の委員の報償額は、日額3,000円とする。

２　委員のうち国及び地方公共団体に属する職員に対しては、報償費を支給しない。

（会議）

第７条　委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

２　委員会の委員の代理出席は、認めないものとする。

３　委員会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

（専門部会）

第８条　委員長は、必要に応じて委員会に諮り、専門部会を置くことができる。

２　専門部会は、委員会の委員で構成し、その代表は、委員長が指名する。

３　専門部会は、第２条各号に掲げる事項について協議する。

４　専門部会の代表は、前項の協議の結果を委員会に報告する。

５　専門部会の会議は、代表が招集し、代表がその議長となる。

６　専門部会の代表は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聴取することができる。

７　専門部会の委員の代理出席は、認めないものとする。

（庶務）

第９条　委員会及び専門部会の庶務は、教育委員会事務局教育総務部教育総務課において処理する。

（その他）

第10条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この要綱は、令和２年10月７日から施行する。

（招集の特例）

２　この要綱による最初の委員会の会議は、第７条第１項の規定にかかわらず、教育委員会が招集する。

（この要綱の失効）

３　この要綱は、義務教育学校の開校の日にその効力を失う。

資料３

両荘地区義務教育学校開校準備委員会開催状況及び今年度の予定

R5.7.25

	令和５年度																																	令和６年度					
	５月			６月			７月			８月			９月			10月			11月			12月			１月			２月			３月			４月			５月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
開校準備委員会									⑩							←			⑪		→							←			⑫		→						

開校準備委員会	第１回	開校準備委員会の組織と今後の予定について
	視察	先進校視察
	第２回	専門部会経過報告【基本計画の方針決定】、次年度以降の準備委員会の運営等について
	第３回	専門部会経過報告、開校準備委員会の組織と今後の予定について（新体制）
	第４回	専門部会経過報告【基本設計の方針決定】
	第５回	専門部会報告【通学手段、校名候補、実施設計等の方針決定】、次年度以降の準備委員会の運営等について
	第６回	専門部会報告【通学手段の方針再検討】
	視察	先進校視察（中止）
	第７回	開校準備委員会の組織と今後の予定について（新体制）、校章（公募案）、校歌（公募案）の検討、通学手段の方針決定
	第８回	校章（候補）、校歌（候補）の検討
	第９回	校章（候補確定）、校歌（候補）の検討【方針決定】、次年度以降の準備委員会の運営等について
	第10回	開校準備委員会の組織と今後の予定について（新体制）、開校記念式典の検討、スクールバス
	第11回	開校記念式典の検討
	第12回	開校記念式典の検討

資料４

両荘みらい学園開校記念式典について

＜日　時＞　令和６年４月８日（月）午後

※児童生徒全員が新たな学校で学びを開始することを踏まえ、新２～９年生が最初に登校する日（始業式の日）に設定

＜場　所＞　両荘みらい学園体育館

＜内　容＞　詳細未定（今後調整予定）

※以下のものを想定

・来賓あいさつ

・イベント

花＊花制作の校歌発表　など

＜その他＞　両荘みらい学園は、複合施設として両荘公民館、両荘市民センターが同校敷地内に設置されるため、当該記念式典には公民館長、市民センター所長も出席。

資料５-１

スクールバスルート図（案）【北部、南部、西部、平荘小周辺、中央、里ルート】

■スクールバス対象人数

◎北部ルート【コミューター】

	R5	R6推計
・白沢地区	2人	0人
・磐地区	5人	5人
・上原	5人	4人
計	12人	9人

◎南部ルート【コミューター】

	R5	R6推計
・池尻地区	14人	12人

◎西部ルート【マイクロバス】

	R5	R6推計
・一本松地区	1人	3人
・小畑西地区	22人	15人
・西山地区	3人	3人
計	26人	21人

◎里ルート【マイクロバス】

	R5	R6推計
・里地区	23人	19人
・養老地区	3人	1人
計	26人	19人

◎平荘小周辺ルート①【マイクロバス】

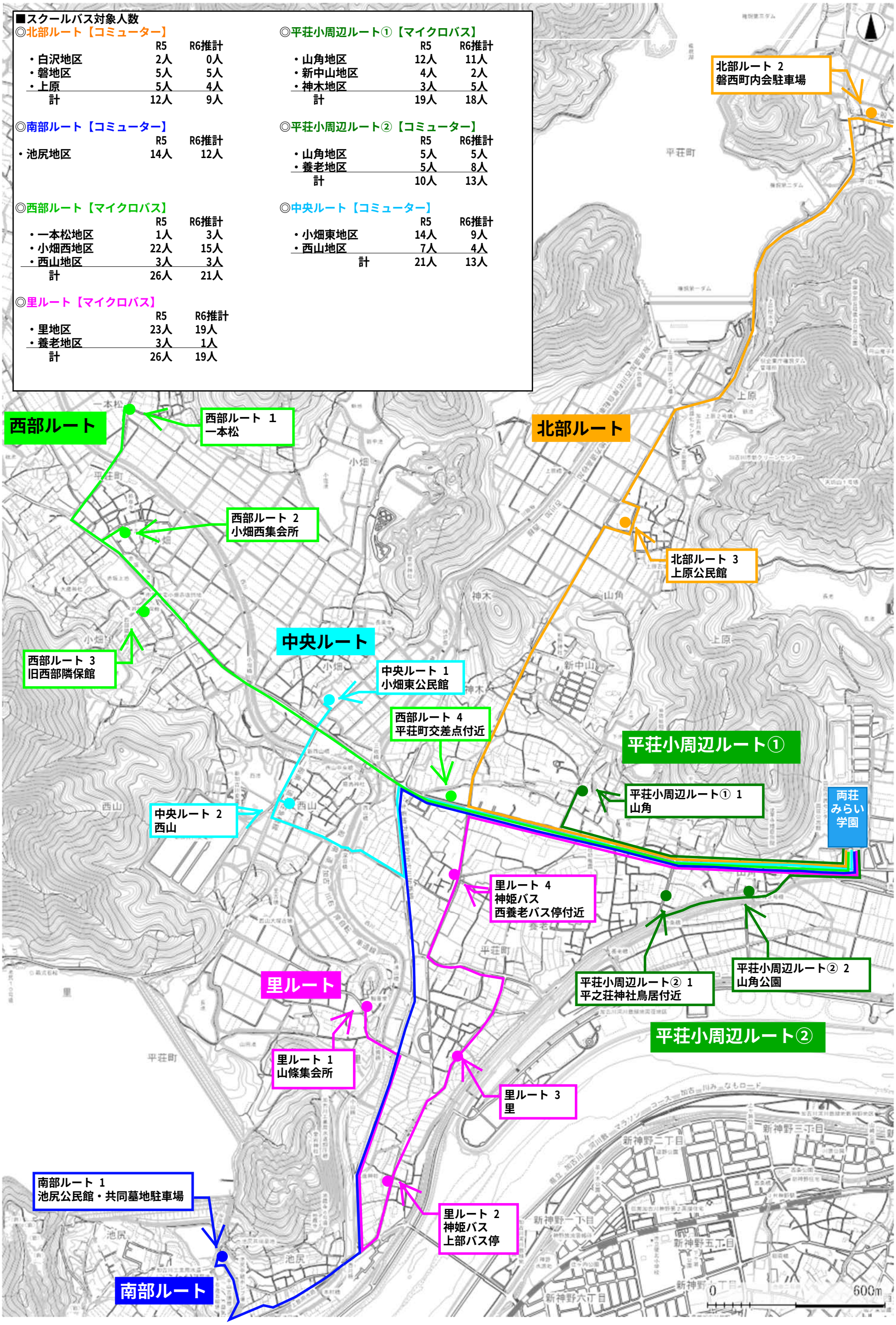
	R5	R6推計
・山角地区	12人	11人
・新中山地区	4人	2人
・神木地区	3人	5人
計	19人	18人

◎平荘小周辺ルート②【コミューター】

	R5	R6推計
・山角地区	5人	5人
・養老地区	5人	8人
計	10人	13人

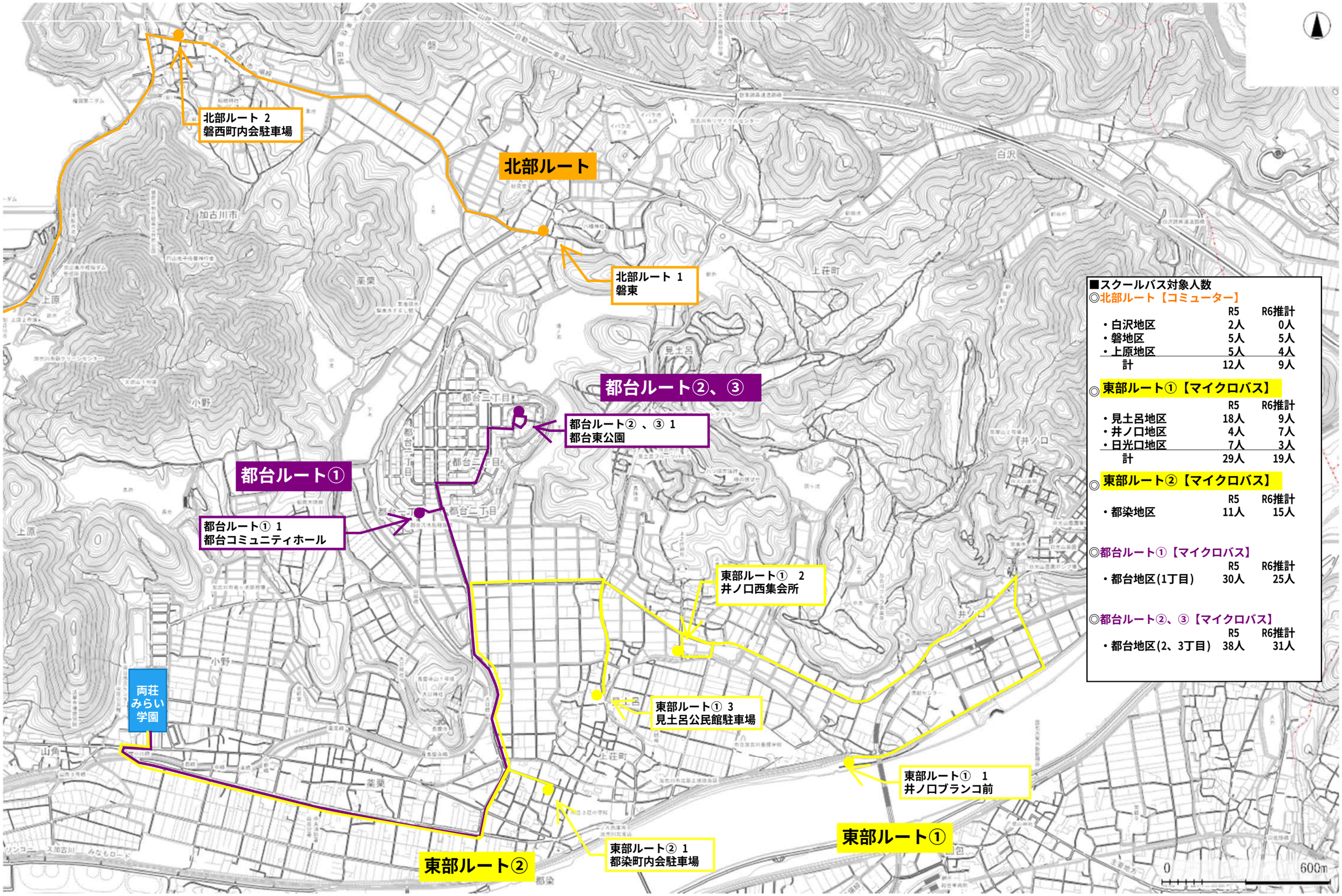
◎中央ルート【コミューター】

	R5	R6推計
・小畑東地区	14人	9人
・西山地区	7人	4人
計	21人	13人



資料５-２

スクールバスルート図（案）【北部、東部、都台ルート】



■スクールバス対象人数

◎北部ルート【コミューター】

	R5	R6推計
・白沢地区	2人	0人
・磐地区	5人	5人
・上原地区	5人	4人
計	12人	9人

◎東部ルート①【マイクロバス】

	R5	R6推計
・見土呂地区	18人	9人
・井ノ口地区	4人	7人
・日光口地区	7人	3人
計	29人	19人

◎東部ルート②【マイクロバス】

	R5	R6推計
・都染地区	11人	15人

◎都台ルート①【マイクロバス】

	R5	R6推計
・都台地区(1丁目)	30人	25人

◎都台ルート②、③【マイクロバス】

	R5	R6推計
・都台地区(2、3丁目)	38人	31人

資料５-３

両荘みらい学園スクールバス時刻表（案）【登校時】

バス	登校便	ルート	乗降場所	発車時刻
１号車 マイクロバス	１便目	西部	一本松	7時29分
			小畑西集会所	7時34分
			旧西部隣保館	7時38分
			平荘町交差点付近	7時42分
			両荘みらい学園（到着時刻）	7時45分
	２便目	都台①	都台コミュニティホール	7時57分
			両荘みらい学園（到着時刻）	8時05分
２号車 マイクロバス	１便目	里	山條集会所	7時30分
			神姫バス上部バス停	7時38分
			里	7時42分
			神姫バス西養老バス停付近	7時46分
			両荘みらい学園（到着時刻）	7時50分
	２便目	平荘小周辺①	山角	8時00分
			両荘みらい学園（到着時刻）	8時02分
３号車 マイクロバス	１便目	東部①	井ノ口ブランコ前	7時29分
			井ノ口西集会所	7時34分
			見土呂公民館駐車場	7時39分
			両荘みらい学園（到着時刻）	7時45分
	２便目	都台②	都台東公園	7時57分
			両荘みらい学園（到着時刻）	8時05分

※朝の会：8時15分～

バス	登校便	ルート	乗降場所	発車時刻
４号車 マイクロバス	１便目	東部②	都染町内会駐車場	7時40分
			両荘みらい学園（到着時刻）	7時45分
	２便目	都台③	都台東公園	7時57分
			両荘みらい学園（到着時刻）	8時05分
５号車 コミューター	１便目	南部	池尻公民館・共同墓地駐車場	7時33分
			両荘みらい学園（到着時刻）	7時45分
	２便目	中央	小畑東公民館	7時52分
			西山	7時56分
			両荘みらい学園（到着時刻）	8時02分
６号車 コミューター	１便目	北部	磐東	7時33分
			磐西町内会駐車場	7時38分
			上原公民館	7時44分
			両荘みらい学園（到着時刻）	7時51分
	２便目	平荘小周辺②	平之荘神社鳥居付近	7時57分
			山角公園付近	8時00分
			両荘みらい学園（到着時刻）	8時02分

資料５-４

両荘みらい学園スクールバス時刻表（案）【下校時】

バス	下校便	ルート	乗降場所	到着時刻	
				５時間目	６時間目
１号車 マイクロバス	１便目	都台①	両荘みらい学園（発車時刻）	14時50分	15時48分
			都台コミュニティホール	14時58分	15時56分
			両荘みらい学園	15時08分	16時06分
	２便目	西部	両荘みらい学園（発車時刻）	15時13分	16時11分
			一本松	15時26分	16時24分
			小畑西集会所	15時30分	16時28分
			旧西部隣保館	15時35分	16時33分
			平荘町交差点付近	15時39分	16時37分
			両荘みらい学園	15時43分	－
２号車 マイクロバス	１便目	平荘小周辺①	両荘みらい学園（発車時刻）	14時50分	15時40分
			山角	14時56分	15時46分
			両荘みらい学園	15時00分	15時50分
	２便目	里	両荘みらい学園（発車時刻）	15時05分	15時55分
			山條集会所	15時14分	16時04分
			神姫バス上部バス停	15時22分	16時12分
			里	15時25分	16時15分
			神姫バス西養老バス停付近	15時30分	16時20分
			両荘みらい学園	15時35分	－
３号車 マイクロバス	１便目	都台②	両荘みらい学園（発車時刻）	14時50分	15時41分
			都台東公園	14時58分	15時49分
			両荘みらい学園	15時08分	15時59分
	２便目	東部①	両荘みらい学園（発車時刻）	15時13分	16時04分
			井ノ口ブランコ前	15時19分	16時10分
			井ノ口西集会所	15時24分	16時15分
			見土呂公民館駐車場	15時28分	16時19分
			両荘みらい学園	15時36分	－

※５校時：14時50分下校　　６校時：15時40分下校

※下校時の発着時刻は、学校の終了時刻によって前後する可能性があります。

バス	下校便	ルート	乗降場所	到着時刻	
				５時間目	６時間目
４号車 マイクロバス	１便目	都台③	両荘みらい学園（発車時刻）	14時50分	15時40分
			都台東公園	14時58分	15時48分
			両荘みらい学園	15時08分	15時58分
	２便目	東部②	両荘みらい学園（発車時刻）	15時13分	16時03分
			都染町内会駐車場	15時18分	16時08分
			両荘みらい学園	15時24分	－
５号車 コミューター	１便目	中央	両荘みらい学園（発車時刻）	14時50分	15時40分
			小畑東公民館	14時54分	15時44分
			西山	14時58分	15時48分
			両荘みらい学園	15時05分	15時55分
	２便目	南部	両荘みらい学園（発車時刻）	15時10分	16時00分
			池尻公民館・共同墓地駐車場	15時22分	16時12分
			両荘みらい学園	15時35分	－
６号車 コミューター	１便目	平荘小周辺②	両荘みらい学園（発車時刻）	14時50分	15時40分
			平之荘神社鳥居付近	14時53分	15時43分
			山角公園付近	14時56分	15時46分
			両荘みらい学園	14時59分	15時49分
	２便目	北部	両荘みらい学園（発車時刻）	15時04分	15時54分
			磐東	15時14分	16時04分
			磐西町内会駐車場	15時19分	16時09分
			上原公民館	15時25分	16時15分
			両荘みらい学園	15時33分	－

資料６

スクールバスデザインについて

＜デザイン制作者＞　前川　裕美さん（両荘みらい学園校章デザイン制作者）

＜デザインの特徴＞　・やわらかいタッチで子ども達が仲良く交流しているところをイメージ

・自然豊かな緑の葉を配置

・号車番号も葉っぱをイメージ

資料７-１

両荘みらい学園カリキュラム等に関する決定事項（学校教育課）

（１）生活時程

※別紙参照

（２）英語科全体構想

※別紙参照

（３）ふるさとみらい科全体構想

※別紙参照

（４）学園会の組織体制

※別紙参照

（５）小学校高学年の部活動参加の在り方

クラブ選択の際に４～６年生で構成するこれまでのクラブだけでなく、７～９年生が所属する部活動への参加も選択できることとし、委員会等を行っている６時間目の時間帯に、月１回程度実施する。（４年生から部活動選択可能とする）

（６）体育祭（運動会）の在り方

午前	午後
1st ステージ	2nd, 3rd ステージ

○１～９学年参加の種目を設定

○地域参加の種目を検討

（７）学園祭の在り方

※別紙参照

資料７－２

令和６年度両荘みらい学園

生活時程表

		１～４年	５・６年	７～９年
朝の会 健康チェック		８：１５～８：２０	８：１５～８：２０	８：１５～８：２０
朝の学習 〇〇タイム		８：２０～８：３５	８：２０～８：３５	８：２０～８：３０
１校時		８：４０～９：２５	８：４０～９：２５	８：３５～９：２５
２校時		９：３５～１０：２０	９：３５～１０：２０	９：３５～１０：２５
業　間		１０：２０～１０：４５	１０：２０～１０：４５	１０：２５～１０：４５
３校時		１０：４５～１１：３０	１０：４５～１１：３５	１０：４５～１１：３５
４校時		１１：４０～１２：２５	１１：４５～１２：３５	１１：４５～１２：３５
給　食		１２：２５～１３：０５	１２：３５～１３：２５	１２：３５～１３：２５
昼休み		１３：０５～１３：２５		
清　掃		１３：２５～１３：４０	１３：２５～１３：４０	１３：２５～１３：４０
５校時		１３：４５～１４：３０	１３：４５～１４：３０	１３：４５～１４：３５
６校時		１４：３５～１５：２０	１４：３５～１５：２０	１４：４５～１５：３５
終わりの会	５校時の日	１４：３０～１４：４０	１４：３０～１４：４０	１４：３５～１４：４５
	６校時の日	１５：２０～１５：３０	１５：２０～１５：３０	１５：３５～１５：４５
下　校	５校時の日	１４：５０		
	６校時の日	１５：４０		１５：５０

青色は乗り入れ授業が可能　ピンク色は異学年交流が可能

ENGLISH AND GLOBAL EDUCATION MODEL IN RYOSO（両荘の英語科モデル 全体構想）

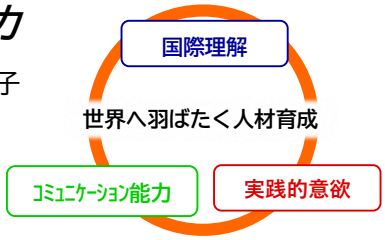
－世界へ羽ばたく人材育成－

資料７－３

９年間の英語教育でめざす姿

両荘の魅力を世界に発信できる生きた英語力

国際理解	自国や異国の文化に対する理解とグローバルな視点をもつ子
コミュニケーション能力	目的や場面に応じて英語でコミュニケーションできる子
実践的意欲	積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする子



就学前教育 英語科共通教材の活用

English 英語科

特別活動等　外国語活動　外国語科

1st stage 前期				2nd stage 中期			3rd stage 後期	
１年	２年	３年	４年	５年	６年	７年	８年	９年
めざす姿 就学前教育からの学びを生かし、英語に触れる楽しさを味わうとともに、英語に対する興味や関心をもとうとする。		めざす姿 英語のリズムやイントネーションに慣れ親しむとともに、相手を意識しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする。		めざす姿 簡単な語句や基本的な表現を用いて、他者に配慮しながら、自分の考えや気持ち等を伝え合おうとする。			めざす姿 話し手・聞き手・読み手・書き手に配慮しながら、即興で情報を交換したり、お互いの考えや気持ち等を伝え合ったりしようとする。	
年間１５時間		年間３５時間		年間７０時間		年間１４０時間		

学級担任

専門的な知識を生かした密な連携

教科担任

ＡＬＴ

ORIGINAL ENGLISH PROGRAM IN RYOSO

就学前教育からの英語科共通教材の活用

学校園連携ユニット※での取組を生かし、こども園で触れた英語の絵本や歌等を、１・２年生でも継続して活用することで就学前教育からの学びを繋げます。

専門的な知識を生かした密な連携

教科担任のもつ専門的な知識や技術が十分生かされるよう、教科担任とALT、学級担任とALTが連携して授業を行います。また、教科担任と学級担任の連携も深めます。

１・２年生からの英語科導入

挨拶や遊びを通して英語のリズムや音声に慣れ親しむ学習を１年生から導入し、英語に対する興味関心を育みながら、義務教育９年間を見通した系統的な学習を進めます。

海外協力校とのオンライン交流

５年生から９年生まで、海外協力校とオンライン交流を行います。英語学習だけでなく異文化交流により、外国の良さとともに日本の良さを再発見することもできます。

English Routine

1st stageでは、毎日の朝の会や終わりの会の際には、児童同士のやり取りに簡単な英語を取り入れることで、日常的に英語での表現に親しむことを目指します。

Small Talk

英語科の授業の中で、全学年でSmall Talkを設定し、仲間とのコミュニケーションの機会を創出します。

English Shower

日常的によく使われる英語表現を掲示したり、昼の時間に英語の歌を流したりするなど、英語に慣れ親しむことができる環境を作ります。

All English Day

ALTや英語の堪能な地域の方々と英語で交流する日を設けます。英語に触れる機会を多く作り、英語でのやり取りの楽しさに繋げます。

Online English

海外の協力校とオンライン接続した大型モニターを活用して交流します。また、2nd stage、3rd stageでは海外の児童生徒と英語でのコミュニケーションをとる機会を確保します。

Presentation in English

3rd stageでは、英語科での学びを活かして、スピーチやICTを活用したプレゼンテーションを行い、英語での表現力を育成します。

両荘みらい学園では、英語でのコミュニケーションが日常的に行えるような様々な場面を設定します。他学年、学級担任、教科担任、ALT、地域住民、外国の方等に向けた目的意識のあるアウトプットを通して、生きた英語力を育みます。

※ 中学校区を１つの単位（ユニット）とし、その地域の学校園が相互に連携し、家庭・地域とも連携を図りながら、子どもの連続した学びや育ちを支援する仕組みのこと

資料７-４

ふるさとみらい科全体構想

学校教育目標

ふるさとを愛し、こころ豊かに、学びあう子どもの育成

【ふるさとみらい科の目標】
探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人・自然・伝統文化・産業などを生かした豊かな体験活動による横断的・総合的な学習を通して、よりよく課題を解決し、ふるさとを愛し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）課題発見・解決の力	（２）総合的表現力	（３）社会への参画意欲・態度
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

ふるさとを知る　地域に学ぶ　社会を考える

地域への愛着を育む学び

前期 1st stage	中期 2nd stage	後期 3rd stage
ふるさとのよさに触れる	**地域の担い手としての意識を醸成する**	**社会の一員として活動・参画する**
・地域との交流活動 とんど祭への参加 町たんけんなど ・地域人材による体験活動 昔遊び、野菜作り、田植え もちつき、かいぼりなど	・地域の伝統文化を体験 狂言、和太鼓など ・ふるさとのよさを世界に発信 海外の協力校との交流など ・地域行事への積極的な参加 とんど祭の運営への関わりなど	・ふるさとの未来を創る取組 ふるさとにおける課題解決、 ふるさとのよさや魅力の発信、 子ども達が考える地域防災など

ふるさとへの愛着　身近な人への感謝　自己肯定感の高まり

地域の担い手としての活躍　ロールモデルへの憧れ　輝く未来へと歩み出す勇気

自己の生き方を充実させる学び

前期 1st stage	中期 2nd stage	後期 3rd stage
自己を見つめ他者を認める	**様々な生き方に触れよりよく生きる**	**自らの人生設計を描く**
・成長した自己の振り返り 夢、希望、期待感の醸成 Stage upセレモニーなど ・集団の中での自己の役割 両荘っ子チームでの活動など ・身近な人との触れ合い 特別支援学校との交流など	・共生社会についての学び 高齢者との交流など ・ロールモデルとの出会い ｹﾞｽﾄﾃｨｰﾁｬｰの活用など ・様々な職業についての学び 職業調べ、夢語り隊など ・家族や地域の方への感謝 感謝の会、感謝の調理など	・平和な世界をめざした学習 SDGs活動など ・勤労観・職業観の形成 職業体験や報告会など ・キャリアプランニング 夢へ向かうPDCA宣言、 将来をｲﾒｰｼﾞした進路選択など

自己を知る　生き方を学ぶ　未来を考える

両荘みらい学園における学園会の組織体系について

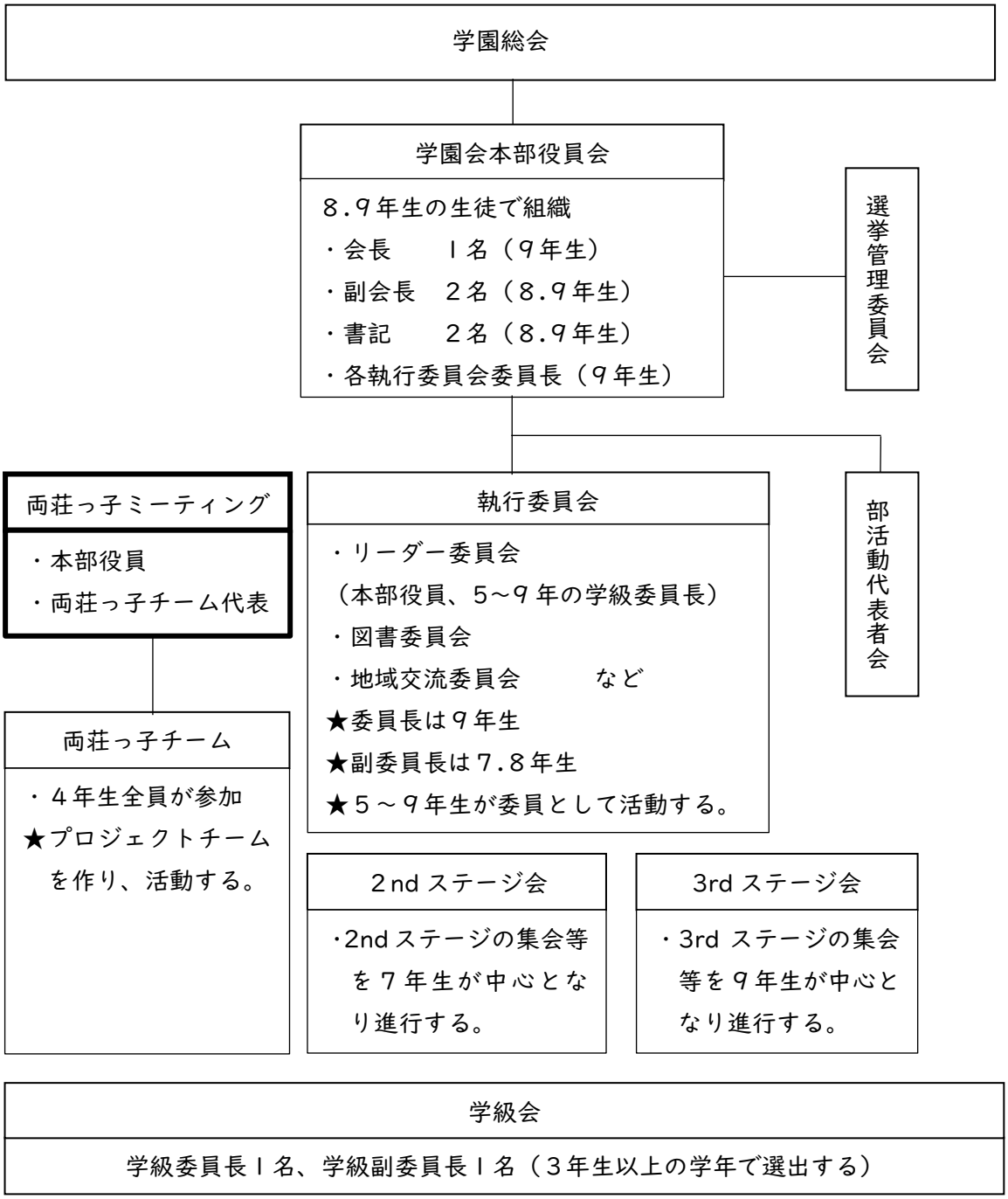
１　ねらい・基本方針

（１）一人一人の児童生徒が学園の一員としての自覚と責任感をもち、ともに協力し、信頼し支え合う望ましい人間関係を形成する。

（２）集団や社会の一員としてよりよい学園生活づくりに参画する。

（３）協力して、学園生活の諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

２　学園会組織図



３　役割

（１）学園会本部役員

学園会本部役員は、第８.９学年の生徒で組織される。学園会が主催する行事の企画運営や学園会新聞の発行、学級会・執行委員会の議題の設定等を行う。

①学園会本部役員のうち、学園会長と副会長は学園会選挙で選出される。

②学園会長と副会長を中心に学園会本部役員（書記）及び各委員会の委員長が選出される。

（２）学級会

より良い学校生活が送れるように目標や提案などを学級内で話し合い、意見を反映させる。

①執行委員会への提案、執行委員会からの提案について検討する。

②決定事項についての取組を進める。

③学級の問題について必要に応じて話し合い、解決に結びつける。

（３）執行委員会（委員会活動）

学園内の仕事を分担し、学園生活を向上発展させ、より豊かにするための活動を行う。

①年間行事予定、学園会活動年間計画をもとに、活動計画を立てる。

②毎月、最終週に定例会を開催し、活動を確認し、実行する。

（４）リーダー委員会

年間の活動の企画と計画の作成、審議を必要とする議題の提出、学園生活を向上・発展させるための話し合い及びその解決のための活動、各種の委員会の招集など、学園会全体の運営や執行にあたる。

①リーダー委員会は、学園会本部役員及び各委員会の委員長、第５～９学年の学級委員長で構成される。

②執行委員会の一つとして位置づけを行う。

（５）両荘っ子ミーティング

ファーストステージ（１～４年生）とセカンド、サードステージ（５～９年生）の児童生徒が主体となった取組を連携させるため、学園会役員と両荘っ子チーム代表が話し合い、活動の方向性や情報・取組の共有を図る。

〇年間３回程度実施する。

（６）両荘っ子チーム

４年生全員がチームに分かれ、ファーストステージ（１～４年生）のリーダーとして考えた活動を行う。

①総合的な学習の時間より１０時間を充当し、チームごとに活動を行う。

②両荘っ子ミーティングで話し合ったことをもとに、チームを編成し、ファーストステージのリーダーとして自分たちにできることを考え、活動する。

（７）2nd ステージ会、3rd ステージ会

2nd ステージ会は７年生が、3rd ステージ会は９年生が中心となり、それぞれのステージにおける集会等の進行を行う。

資料７-６

両荘みらい学園における学園祭の在り方について

＜学園祭（発表）における決定事項＞

①音楽会の要素を入れること　②ステージごとの演目を意識すること　③公民館と連携すること

・音楽発表は合唱も合奏も行う。
・第Ⅰ部を午前に、第Ⅱ部を午後に実施する。
・鑑賞は第Ⅰ部、第Ⅱ部に分かれて行う。
・第Ⅰ部の運営は、１～４年生の担任および専科で行う。
・公民館の登録団体や部活・クラブ活動の発表数は展示発表の方法を模索した上で、ある程度数と時間を絞って実施する。
・それぞれの部で開会セレモニーを実施する。

午前に開催				午後に開催				
第Ⅰ部				第Ⅱ部				
１年	２年	３年	４年	５年	６年	７年	８年	９年
音楽発表	音楽発表	音楽発表	音楽発表	音楽発表	音楽発表	合唱コンクール	合唱コンクール	合唱コンクール
第Ⅰ部のみ鑑賞				第Ⅱ部のみ鑑賞				

第Ⅰ部の開会セレモニー（開会の挨拶等）

第Ⅱ部の開会セレモニー（開会の挨拶等）

放送部による放送劇

公民館登録団体やクラブ活動による成果発表について、児童生徒が一同に集まり鑑賞することは難しいため、見られない児童生徒についてはビデオ（オンライン）鑑賞